



## 本村幼稚園 1月の園だより

令和4年1月11日 港区立本村幼稚園長 山村 登洋

子供たちの自己肯定感の向上へラストスパート！

園長 山村 登洋



新年あけましておめでとうございます。令和4年の幕開けです。本年もよろしくお願ひいたします。今年の一部では大雪など寒さの厳しい地域もありましたが、東京は天候にも恵まれ、穏やかな幕開けとなりました。どのご家庭でも楽しいお正月を過ごされたことと思います。

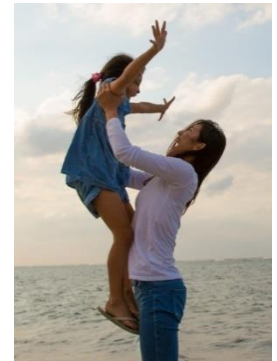
今年「寅年」。「寅」には「新しく立ち上がる」という意味や「生まれたものが成長する」という意味があるそうです。未だ先の見えぬコロナ禍ではありますが、何事も新しいチャレンジを心がけ、子供たちの成長を第一に考えていける1年にしたいですね。



さて、幼稚園では、今日からいよいよ最後の集大成3学期の始まりです。はと組は48日、りす組は49日が残りの保育日数となります。この数を聞くと保護者の皆様はもちろん、私たち教職員も毎年身が引き締まる思いで一杯になります。最後の3学期になっても指導のポイントは子供たちの「自己肯定感」の向上と考えています。

では、どうしたら「自己肯定感」の向上に繋げていけるのでしょうか。それには、残り少ない日数であっても、子供たちがチャレンジする場を多く設定することが重要です。園はもちろんのこと、ご家庭や地域でもチャレンジする場を作ってほしいと思います。

しかし、私たちが設定したチャレンジする場にどの子もあてはまる訳ではありません。当然のことながら、子供たちの選択があります。もしかしたら、失敗が怖くてチャレンジしない子供もいるかもしれません。だからこそ、多様な場を設定していくことが大事なのです。



子供たちが選択したチャレンジを陰ながら支えたり、応援したりしながら、子供の行動を見守ります。ここで大切なのは結果が成功した、失敗したに関わらず、褒めてあげることです。特に失敗したときは、子供が一生懸命にやってきた過程を褒めていくことです。幼児期は体験を積み重ねることで大きな成長をしていきます。加えて子供の自慢話や相談を真剣に聞いてあげることも大切にしていきましょう。毎日の積み上げが大切です。

残りの日々を幼稚園と保護者、地域の方々が両輪となって子供たちを育てていきたいと思っています。今年も教職員一同全力投球で保育にあたってまいります。

**自己肯定感を高める親の接し方**

OK	NG
子どものすべてを受け入れる	子どもを否定する発言
失敗しても大丈夫!	どうしてできないの?! だからダメなのよ! ○○ちゃんのほうが...